

# 新型コロナウイルス感染症 対応方針



くっつかないモン  
#KeepDistance



手を洗うモン  
#WashHands



換気をするモン  
#OpenWindow

50人  
ウェーブ  
スタート

小規模  
開催

九州  
在住  
限定

2020年12月11日作成

※内容は情勢の変化により変更する場合があります

## (1) 開催条件

- ・熊本県において1月5日以降大会当日にかけて緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていないこと。もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

## (2) 参加資格

- ・第1回大会においては広域移動を制限するため九州在住の方に限る。  
(その他の参加資格については大会要項を参照)

※九州内であっても特定の地域において感染の拡大が見られた場合、当該地域居住者の参加をお断りする場合があります。

## (3) 参加費の取り扱い

- ・感染症および天候不良など主催者の責によらない事由で大会中止の場合  
→返金はしない。その代わりに参加賞として南阿蘇特産品等を郵送する。
- ・九州外居住者および感染拡大地域の居住者の参加をお断りする場合  
→事務手数料および振込手数料計1,500円を差し引いた額を返金する。

#### (4) 問診票の提出

- ・事前に案内する問診票に下記を記載の上ご持参頂く。
  - ①ゼッケンNo.・氏名
  - ②自宅出発前の体温
  - ③大会前2週間における以下の事項の有無
    - －体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常等）
    - －新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
    - －同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
    - －過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある※上記のいずれかに該当する場合は自主的に参加を見合わせて頂く。

#### (5) 大会中および大会後

- ・マスクやネックゲイター等の口を覆うものを持参・携帯し、走行時以外は常に着用する。
- ・こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を行うこと。（特にトイレ後は念入りに）
- ・他の参加者やスタッフ等との距離（最低1m、できるだけ2m以上）を確保すること。
- ・大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・感染防止のために主催者が決めたその他のルールを守り、その指示に従うこと。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ・COCOA（新型コロナウイルス接触確認アプリ）のインストールを強く推奨する。

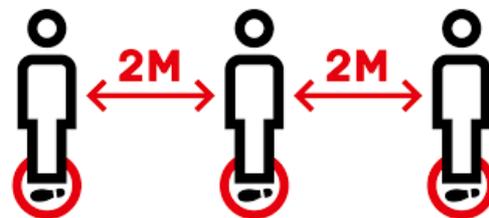
## (6) 受付

- **ゼッケンは予め郵送**し、当日の受付は問診票提出と参加賞受け渡しのみに簡略化する。
- 受付会場の入口に消毒液を配置し、手指を消毒した選手のみ受付に進むことができる。
- 受付前にスタッフによる検温を行う。**37.5℃**以上の発熱がある選手は出走できない。
- スタッフによる検温は**非接触型体温計**を使用する。
- 受付スタッフはフェイスシールド+マスクを装着し、選手とスタッフが直接対面しない。
- 参加者が距離を置いて並べるよう地面に目印を設置する。
- 更衣室や待機スペースは用意しない。参加者は予め着替えてくるか、自分の車等を使用すること。

## ▼受付レイアウト



※フットサインを引き、  
受付列の間隔をとります。



## (7) スタート時

50人  
ウェーブ  
スタート

- **開会式および集合写真撮影は行わない。**  
※協議説明など必要事項は事前の資料送付および受付会場でのアナウンスに代える。
- **ゼッケンNo.が若い順に50名ずつ3分おきのウェーブスタートとする。後発の選手は密にならないよう周辺で待機し、前の組がスタートしてからスタートレーンに並ぶ。**
- **事務局はエントリー時に登録した想定ゴールタイムが早い順にNo.を割り振る。**
- **スタート直前までマスク等で顔を覆い、周囲の選手と最低1m間隔を空ける。**

## ▼スタートタイムスケジュール

エントリー  
締切後公開

## (8) 走行中

- ・周囲の選手とは少なくとも**2m**以上間隔を空けて走行する。
- ・**追い抜く時およびすれ違う時は最低1m**間隔を空ける。追い抜く人は予め前走者に声をかけ、両者が協力して間隔を保つこと。
- ・唾や痰を吐く行為は極力行わない。
- ・口をつけた飲料等を走路上に捨てない。

## (9) エイドステーション

- ・エイドには**消毒液**を設置し、手指を消毒した参加者のみエイドを利用することができる。
- ・スタッフはフェイスシールド+マスクを装着する。
- ・食べ物は大皿を避け、選手一人ずつ小皿に取り分けたもの又は個包装のものを提供する。
- ・**飲み物は500mlペットボトルを1本渡す。カップやマイボトルへの給水は行わない。**
- ・応援者の立ち入り及び私的サポート（飲食物の提供やマッサージなど）は禁止。

## (10) フィニッシュ時

- ・完走証を発行するスタッフはフェイスシールドを着用し、こまめに手を洗う。
- ・**表彰式は簡素化**し行う。
- ・大きな声での声援やハイタッチなどの接触は行わない。
- ・フィニッシュ後、休憩する選手にはマスク等で口を覆うことを促す。

## (1 1) 飲食ブース

- テーブルやいすの間隔を空け、密集を回避する。
- テーブルごとに消毒用アルコールを設置し、ブース使用者に消毒を促す。

## (1 2) 救護

- 救護担当者が処置をする際は、その前後に必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。  
(処置を受けた選手はその時点で失格)
- リタイア選手回収車両は座席に間隔を空け、また十分な換気をした状態で走行する。

## (12) スタッフ

- 大会当日に選手と同等の問診票を提出する。体調不良など不適當な事項がある場合は無理せず参加を見合わせる。
- 大会中は常にマスク等を着用し口を覆う。マスクは各自で持参する。受付やエイドステーションなど選手と対面するスタッフはフェイスシールドを合わせて着用する。
- 活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
- スタート／フィニッシュ地点およびWSには衛生管理担当者を配置する。担当者は各対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し、複数の人が触れると考えられる場所（トイレのドアノブやレバーなど）はこまめに消毒する。
- WSスタッフはビニール手袋を着用する。終了後は速やかに廃棄する。
- スタッフ同士及び選手とは最低1m、出来るだけ2m間隔を空ける。握手やハイタッチなどの接触は禁止。
- スタート／フィニッシュ地点およびWSは予備の使い捨てマスクを設置する。ただし止むを得ない場合を除き、参加者およびスタッフへの提供はしない。

## (13) 一般応援

- 送迎など特に必要な場合を除き、一般の応援は禁止する。コース上およびエイドステーションには駐車場もないため特に厳禁。
- 送迎等で来場する際はマスクを着用するなど感染防止マナーに努めて頂く。
- 体調不良など感染を疑わせる事情がある場合は来場を禁止する。